

JANS 若手の会 第2回関西エリア検討会 報告書

AIで看護の未来はどう変わる?? ～看護研究と臨床でのAI活用～

2023年3月5日(日)に、第2回関西エリア検討会をオンライン開催いたしました。コロナ禍で思うように研究がすすめられない中、本検討会の目的を①講義で新しい知識を得る、②グループワークで日々の研究やワーク・ライフ・バランスについてディスカッションし、日々のモチベーションアップにつなげるの2点とし、2部制にて企画しました。

第1部は『看護におけるAI活用～看護の質評価支援を例に～』というテーマで、講師に兵庫県立大学大学院工学研究科 新居学先生を講師にお招きし、参加者17名(エリア・コーディネーター含まず)で開催しました。Chat GPTの説明から、看護職として研究時にどのようにAIを活用すると良いのか、また現在、新居先生が取り組まれている共同研究にAIをどのように取り入れておられるかなど、今後の研究につながる充実した内容でした。

第2部は『語り合おう、私たちのワーク・ライフ・バランス』と題し、少人数制で有意義なディスカッションができるように開催しました。参加者4名とエリア・コーディネーター6名の計10名で、30分間の意見交換後、まとめ10分で実施しました。出産、育児、介護などを仕事と並行して行う工夫、研究時間の捻出、今後のキャリアアップをどのように考えているのかなど、有意義なグループワークとなりました。

参加者アンケートからのコメント(一部)

第1部：看護におけるAI活用～看護の質評価支援を例に～

- ・AIと看護に関するお話を聞く機会があまりなかったので、大変貴重な機会でした。AIを応用して使用していくことは、今後避けられないことだと思いますし、進化が目まぐるしい分野なので、定期的にこういう勉強の機会があると嬉しいです。
- ・看護師による判断がまだまだ必要な部分が多く、人間がプログラムして出力されたデータをいかに吟味するのか、ということが印象に残っています。
- ・実際にAIがどのように看護に取り入れられているのかを知る機会が得られ、同時に看護教育として何が求められるのか??について少し考えさせられる機会にもなりました。

第2部：語り合おう、私たちのワーク・ライフ・バランス

- ・若手研究者と集い、和気あいあいとお話することができて大変貴重なお時間でした。
- ・他大学の先生方の多忙な状況が伺えたり、職場環境の違いが分かって興味深かったです。

オンライン開催 ZOOM

JANS 若手の会
関西エリア検討会

AIで看護の未来はどう変わる??
～看護研究と臨床でのAI活用～
開催日時：2023年3月5日(日)
14時～16時半(予定)

ご挨拶 14:00～14:10
第1部 14:10～15:40
看護におけるAI活用～看護の質評価支援を例に～
講師 兵庫県立大学大学院工学研究科 新居学先生

第2部 15:50～16:30(予定)
語り合おう、
私たちのワーク・ライフ・バランス
※グループワーク形式で行います

参加費 無料



関西エリア・コーディネーター

伊東由康, 岡本留美, 野寄亜矢子, 吉川あゆみ, 和辻雄仁, 飯田恵子